

# 誰もが自分らしく暮らせる希望ある山陰を求める

## しまね総がかり集会開催

6月16日、県民会館で、だれもが自分らしく暮らせる、希望ある山陰を求める、しまね総がかり集会が、100名を超える参加者で開催された。

まず、「住民目線で政治を変える会・山陰」共同代表の福嶋浩彦氏が、「市民と野党の共同で未来を拓く」と題して基調講演を行いました。



総がかり集会で決意を述べる中林候補

福嶋氏は、草の根から今の社会のあり方を考えること、憲法9条を守る運動を、意見や認識の違いを越えて説得力あるものにしていく事の重要性を指摘し、地域の中で市民と野党の協力を進めていこうと呼びかけました。

フロアから、各分野での発言の最後に、参議院選挙鳥取・島根選挙区の党統一無所属予定候補の中林よし子さんが、5野党・会派、多くの市民の運動への感謝と、それに応えるために無

所属立候補の決意をしたと表明しました。さらに、安倍政治を変えるため、自分も新しいチャレンジをしていきたいと決意を述べました。

加納琴子後援会会長は、「元氣いっぱいの子に、もう一度国会で頑張ってもらいたい」と激励しました。

## 中林よし子さんと語ろう会 松江市八束町で開かれる

6月15日(土)八束町で、「日本共産党八束町後援会」共催が開かれ、雨の中44名が参加しました。

柏木利徳・考える会事務局長が司会を務め、「4期9年間国会議員として活躍された中林よし子さん」と中林さんを紹介、藤井伸士会長が「我々は地元の橋本祥朗市議を、共産党だが人柄で応援してきた。共産党とはどんな党なのかを中林さんに話してもらい理解を深めたい」と挨拶しました。



語ろう会で訴える中林よし子さん

中林さんは、「朝鮮半島から引き揚げて戦後まもなく父を失い母は3人の子供を苦労して育てた。母のよくな苦労を誰にもさせたくないと、戦争に反対した共産党を知り入った」「憲法を変え、再び戦争ができる国にしようとしている政治を変え、誰もが安心して平和で格差のない社会を実現したい」と訴えました。

参加した人は「とても分かりやすい話だった。友達も誘えばよかった」など感想が寄せられました。橋本市議も議会報告を行いました。

## 中林よし子予定候補の「思い」に共感

### 東出雲共産党後援会「げんき会」

東出雲町の共産党後援会「げんき会」が、6月16日、議院議員予定候補を囲む「集い」を開きました。

中林よし子さんは、立候補するに至った経過を話され「衆議院議員としての活動の後、引退した10年間は、母子家庭で育ててくれた母親を介護し、100歳の誕生日祝いの後母が亡くなった」というくだりに、参加者一同、よし子さんを苦勞して育て、議員活動を支えてこられたよし子さんのお母さんに思いを馳せました。



中林よし子予定候補を囲む「集い」

安政政権を退陣させるために、参院選で、何としても比例は日本共産党、選挙区は無所属候補となった中林よし子さんを国会へ押し上げようと決意を固めました。

## 松江生健会と年金者組合が

### 春の合同レクレーション実施

5月30日、松江生健会と年金者組合の会員が集い、春のレクレーションを実施。

鳥取県南部町出身の教員、孔版画家、板祐生(いたゆうせい)の作品と郷土玩具等の



「祐生出会いの館」にて

コレクションを展示する「祐生出会いの館」を訪れました。郷土玩具をはじめポスター、マッチ箱、駅弁の掛け紙、てぬぐいなどノスタルジックなものが展示され、いずれも当時の生活文化に思いをはせることができる作品でした。

とりわけ祐生がポスターの持つ芸術性に注目し集めたコレクションは大正から昭和にかけての古き良き時代を感じさせ、精巧につくられた三越呉服店の版面ポスターや有名なセクシー赤玉ポトワインの写真ポスター(当時の写真コンテストで1位)はその鮮

明さに息をのむほどでした。板祐生コレクションの特徴は収集品を知人や仲間から無料で送ってもらい収集し、そのお礼に教師として用いた方版を使って、送られた作品を模写し孔版画作品を送ると言う創作を続けました。

今回松江市の福祉バスを利用でき、バスと運転手経費が無料となり、参加費用の軽減や風景を楽しみながらのおしゃべりに花が咲きました。

参加者23名が隣の緑水園でのお食事と懇談会で友好を温め楽しい1日を過ごしました。(松江生健会 戸崎ひで子)